

議会や議員への質問

県議会では、議員が学校に出向いて議会の仕組みや議員の仕事について授業を行う「みえ県議会出前講座」を実施しています。講座は小学生から大学生を対象にしており、普段接する機会の少ない議員に対して、児童・生徒・学生の皆さんからたくさんの質問をいただいています。ここでは「出前講座」でいただいた、議会や議員に対する質問の一部をご紹介します。

Q¹ 議場の座席順はどのようにして決めるのですか？

A¹ 議場の座席は、議長に近い手前側が当選回数(多)の少ない議員、議長から遠い奥側が当選回数の多い議員が座るようになっています。また、議長から向かって左側から、議員のグループ(「会派」と言います)の中で最も人数の多いグループ(「第一会派」と言います)が座ることになっています。



Q² 障がいのある人も選挙に立候補できますか？

A² 障がいのある方も選挙に立候補することができます。三重県議会では、これまで本会議での採決を「起立」(賛成の人は立ち、反対の人は座ったままです)により行っていましたが、令和6年1月から「押しボタン式投票」でも採決を行うことができるようになりました。これは、議員が「起立」できない場合にも対応できるようにすることも考慮し改修工事を行ったものです。



Q³ 一度にどれくらいの数の議案を審議していますか？

A³ 議案が一度に上程(本会議で議題として取り扱うこと)される数はまちまちです。1件だけで上程されることもあれば、何十件とまとめて上程されることもあります。令和になってからの最多は72件です(令和7年2月17日上程分)。

Q⁴ 1回の本会議はどれくらいの時間がかかりますか？

A⁴ その日の審議の内容によって変わります。採決だけの場合は数分で終了することもあれば、本会議を休憩している間に別の会議をいくつも開いてから再び本会議を開くこともあります。通常、本会議は午前10時から始まり、午後5時までは終わることになっていますが、必要な場合は会議時間を繰り上げたり延長することができます。

Q⁵ 採決で賛成と反対が同数の時はどうするのですか？

A⁵ 賛成と反対が同数であった場合は、本会議では議長が、委員会では委員長が可否を決めます(通常、議長や委員長は採決に参加しません)。これを「裁決」といいます。同じ「さいけつ」という読みですが意味が異なります。



会派へのQ&A

- Q₁ 会派について教えてください。
- Q₂ 令和6年定例会で重点的に取り組んだことは？
- Q₃ 令和7年定例会で力を入れていきたいことは？

自由民主党

A₁ 自由民主党の党員で構成される、各々が得意な政策分野を持つ議員団です。



A₂ 県内各地の課題解決への取り組み、人・動物・環境の健康を一体的に考える「ワンヘルス」の推進、食料自給率向上対策の強化、能登半島地震での気づきを基にした防災減災・国土強靱化政策や、観光振興の推進など。

A₃ 「水産王国みえ」の復活、「全国豊かな海づくり大会」開催に向けた政策をはじめとする農林水産業の振興、防災減災と国土強靱化、医療介護等の福祉の充実、不登校等困難を抱える子どもの支援強化、スポーツを活かした地域活性化など。

新政みえ

A₁ 結成25年目の会派で、多様な人材が集う政策集団として日々活動しています。



A₂ 「すべては県民の幸せのために」生活者、働く者、納税者、消費者の視点から暮らしに焦点をあて「だれもが安心して安定した暮らしができるように」との思いをベースに取り組んできました。

A₃ 三重県の未来そのものである子どもたちが豊かに育ち、全ての人が安心して暮らし続けることのできる社会の実現を目指し、雇用の確保や働き方改革の推進、子ども・子育てや介護、医療などの課題解決に力をいれていきます。

草莽 (そうもう)

A₁ 「組織や体制に依存せず個々の力で新たな流れを作る」を目指す会派です。



A₂ 令和6年の定例会では、能登半島地震を踏まえた南海トラフ地震への備え、リニア中央新幹線の早期全線開業、学校での防災力強化などについて、一般質問で重点的に県当局へ問いました。

A₃ 人口減少対策、リニア中央新幹線の早期全線開業に向けた取り組み、物価高騰対策、中小企業支援、持続可能な公共交通についての取り組みなどに、力を入れていきたいと考えています。

公明党

A₁ 2名所属の会派です。現場の声を形にするため全力で頑張っています!!



A₂ 特に防災減災対策について県内市町の公明議員と連携し、木造住宅への耐震シェルター設置補助、車中泊等も含めた避難(所)生活環境の改善と避難先の選択肢の拡充、仮設住宅の建設など災害時に必要となる土地利用の整理を促しました。

A₃ 県民の生命と生活を守るため、救命医療やがん対策の更なる充実、物価高騰への対応策(所得向上・価格転嫁など)に全力をあげます。また「こどもまんなか社会」の実現や防災減災対策にも更なる力を入れ取り組んでまいります。

日本共産党

A₁ 国政政党でもある日本共産党です。所属議員1人ですが頑張っています。



A₂ もちろん「ジェンダー平等」です。男女の賃金格差、包括的性教育、女性目線の防災。他にも、議員で唯一県営水道の料金改定について一般質問で取り上げました。12月には、受水町からの意見等を踏まえ、令和7~8年度の2年間は、現行料金のまま据え置くことが決まりました!

A₃ 昨年の一般質問で、福祉医療費(子ども、障がい者、一人親)の窓口負担無料の対象拡大を求めました。令和7年度当初予算で、中学生(入院)までに対象拡大すると早速予算化されました。今後もさらなる対象の拡大に向けて頑張ります!